

## 金婚式・書芸誌70周年・祝賀会に寄せて

副会長 秋田 恵月

祝賀会に多数ご出席賜りまして誠に有りがとうございました。

祝宴が始まり会長先生のご家族様のご紹介、ご活躍をお聞きして心暖まりほほえましく存じました。

特にご長男勝英様のご挨拶を聞き、親子愛、兄弟愛の空気が溢れ、心の温かさが伝わり胸に熱いものを感じほんとうに感動致しました。

また「お釈迦様の教え」をお孫様のリードで、全員一同になっての合唱がとても良い試みでした。

そして「書藝誌」復刻版のおしゃれな表紙、隸書の大家である前会長、前川芳南先生の上品で重厚味ある書風、出席者全員のお名前を乗せて頂いた引き出物、末長く手元に置かせて戴きます。

また私には身にあまる年間大賞を頂きまして深くお礼申し上げます。

今日の日まで成長させて頂きましたのも会長先生のご指導故、心より感謝申し上げます。

そして私には愛弟子の北川華月先生を毎日書道会、会員として歩んでもらうことになりこれも偏に会長先生にお力をお貸し頂いたお陰だと心より御礼申し上げます。また北川先生も私によくついて来て下さったことだと満足感で一杯でございます。

雨の日も、風の日も、錬成会に審査会にと出席して下さり毎日書道展では二人で悩み、もがき、なかなか抜け出せなかった時も、会長先生のアドバイスで雲の上に出られた様に顔がほころんだのを思い出します。

私が会員に昇格させて頂いた時よりも北川華月先生が会員に昇格させて頂いた時の方が感動が大きく私の喜びはひとしおではなく、ほんとうに肩の荷が降りた思いでした。

これからは日本書道芸術院に、毎日書道展にと、二人三脚で力を心をもやし進んで行こうと思っております。会員の皆様ほんとうに有りがとうございました。

人生、今日の日が一番最高！